

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻	2026年度
英語	修士課程《一般》	秋季

【I】

《解答又は解答例》

- 問1 着る衣服から、感染する病気に至るまで、生活のあらゆるところに気候は影響を与えています。これは、私たち人間が、限られた範囲の温度と湿度を快適と感じるためです。快適な範囲は、約 20～26℃の気温と、20～75%の湿度の間にあります。私たちは世界中のさまざまな場所に暮らしており、時としてその環境が快適ではない気温や湿度であることもあります。
- 問2 イギリスの家ではほとんどの家でセントラルヒーティングが設置されているが、冷房が設置されている家は一部である。オーストラリアの家では、ほとんどの家で冷房が設置されているが、セントラルヒーティングを設置していることはまれである。
- 問3 テキサス州ヒューストンでは、1年のうち少なくとも5か月は平均気温が30℃を超えているので、人々は暑い日や雨の日に地下道を使用している。カナダでは、豪雪と極寒を避けるために、地下モールが設置されている。
- 問4 Climate controls where and when we get our food, because agriculture is controlled by rainfall, frost, and snow, and by how long the growing season is, which includes both the amount of sunlight and the length of the warm season.

《出題の意図》

自然環境に関する英語の論説を読み、内容主旨を適切に理解しているかを問うとともに、自然環境に関して英語で適切に表現できるかを確認する問題。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般》	2026年度 秋季
英語		

【Ⅱ】

《解答又は解答例》

問1 著作権の関係で、掲載いたしません。

問2 題名：卒業論文の題名：河童による地域振興—兵庫県福崎町を事例に
Regional Development measure using Kappa(water sprite)
—Case Study of Fukusaki Town, Hyogo Prefecture—

研究目的：本研究は河童を使った地域振興効果を明らかにするために、兵庫県福崎町で実施したアンケート調査結果を報告する。福崎町では、2014年から怖い河童を使った地域振興が行われている。この試みの効果は大きく、町民並びに町外民から大いに支持を受けている。

This paper reports the results of a questionnaire survey conducted in Fukusaki Town, Hyogo Prefecture to clarify the regional development using Kappa(water sprite). In Fukusaki Town, a regional development measure using Kappa has been adopted since 2014. The effect of this promotion has been great, and it has gained great support from residents inside and outside Fukusaki Town.

《出題の意図》

日本地誌（東京）に関する説明を適切に翻訳できるかを問うとともに、自らの研究題目と研究目的を英語で適切に説明できるかの能力を測る問題。